

平成24年度リンゴ関係 除草剤・生育調節剤試験判定結果

公益財団法人日本植物調節剤研究協会

平成24年度リンゴ関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成25年1月23日(水)にメトロポリタン盛岡NEW WINGにおいて開催された。

この検討会には、試験場関係者16名、委託関係者15名ほか、計37名の参集を得て、除草剤1薬剤(2点)、生

育調節剤7薬剤(16点)、展着剤1薬剤(2点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成24年度リンゴ関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A. 除草剤

注) アザラシは新たに判定された部分

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 ◇は試験中など (数)	ねらい・試験設計等	備考	判定	判定内容
1. SB-211 フォブ777 アザラシ・イブ・ロビ・ロビン 塩:20% アザラシ・イブ・ロビ・ロビン [ス・テ・イー・エス・バ・イ・オ・ブ 777]	リンゴ	適用性 継続	富山果樹研 石川 (2)	ねらい 一年生・多年生・スギナ/茎葉処理 対象 雑草 一年生/科 全般 一年生/葉 全般 多年生/科 全般 多年生/葉 全般 その他 スギナ 設計 薬量 (水量) /10a 茎葉処理 雑草生育期(30cm以下)、春期および夏期 500ml <100L 750ml <100L 1000ml <100L 対) ハスダ 雑草生育期(30cm以下) 500ml <100L	・展着剤は不要 ・樹に掛からない様に散布する。 ・処理後30日程度で調査を行う。 ・効果の発現を確認するため処理後5日程度で、さらに、抑草期間を確認するため60日後まで調査を行う。	実・継	[リンゴ]:一年生雑草、 多年生雑草 ・春〜夏期、雑草生育期 (草丈30cm以下) ・500~1000mL<100L/>10a ・茎葉処理 継) ・スギナに対する除草効果の確認

B. 生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 ◇は試験中など (数)	ねらい・試験設計等	備考	判定	判定内容
1. AF-1 くん蒸 1-ナチルクロアロハシ :3.3% [ロム・アド・ハース・ヤブ ン]	リンゴ (ふじ)	適用性 継続	青森りんご研 <中間> 岩手<中間> (2)	ねらい 収穫21日後への処理時期の拡大 設計 薬量 (水量) /10a 密閉容器内くん蒸処理 収穫14日後(室温)※1000ppb(製品68mg/ml) 収穫21日後(室温)※1000ppb(製品68mg/ml) 収穫14日後(6日後まで室温、以降は冷蔵) ※1000ppb(製品68mg/ml) 収穫21日後(6日後まで室温、以降は冷蔵) ※1000ppb(製品68mg/ml) 無処理 収穫後は室温保管 無処理 収穫後6日まで室温、以降は冷蔵保管 対) AF-1 密閉容器内くん蒸処理 収穫6日後(室温)※1000ppb(製品68mg/ml)	※現行登録である収穫6日後まで室温保管し、その後は室温または冷蔵保管した果実を供試する。 ・収穫用ツツに入れられた果実を所定のネットに入れ、本剤を処理し、その後室温で保管する。 ・処理直後、各々の処理時、最終処理2、4、6、8週間後に果実硬度、酸度、糖度、果実腐敗等を測定する。参考としてエチレン生成量を測定する。	実・継 (従来どおり)	[リンゴ]:収穫果実の貯蔵性向上 ・収穫直後〜6日後 ・1000ppb ・水に入れて発生する気体に密閉条件下で12〜24時間暴露 参考)効果の確認された品種 ふじ、王林、シナゴールド、ジョナゴールド 注) ・品種によっては処理時期が遅れると効果の劣る場合がある 継) ・収穫21日後での効果、薬害の確認(ふじ) ・収穫10日後での効果、薬害の確認(シナゴールド、王林)
	リンゴ (シナゴールド)	適用性 継続	岩手<中間> <長野果試> (2)	ねらい 収穫10日後への処理時期の拡大 設計 薬量 (水量) /10a 密閉容器内くん蒸処理 収穫6日後(室温)※1000ppb(製品68mg/ml) 収穫10日後(室温)※1000ppb(製品68mg/ml) 収穫6日後(3日後まで室温、以降は冷蔵) ※1000ppb(製品68mg/ml) 収穫10日後(3日後まで室温、以降は冷蔵) ※1000ppb(製品68mg/ml) 無処理 収穫後は室温保管 無処理 収穫3日まで室温、以降は冷蔵保管 対) AF-1 密閉容器内くん蒸処理 1000ppb(製品68mg/ml)	※収穫3日後まで室温保管し、その後は室温または冷蔵保管した果実を供試する。 ・収穫用ツツに入れられた果実を所定のネットに入れ、本剤を処理し、その後室温で保管する。 ・収穫直後、各々の処理時、最終処理2、4、6、8週間後に果実硬度、酸度、糖度、果実腐敗等を測定する。参考としてエチレン生成量を測定する。		

B. 生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 新・継 の 別	試験担当場所 ◇は試験中など (数)	ねらい 試験設計等	備考	判定	判定内容
1. AF-1 くん蒸 つづき	リンゴ (王林)	適用性 継続	青森りんご研 若手<中間>	ねらい (2) 設計 薬量 <水量> /10a 収穫10日後への処理時期の拡大 密閉容器内くん蒸処理 収穫6日後(室温)※1000ppb(製品68mg/m ³) 収穫10日後(室温)※1000ppb(製品68mg/m ³) 収穫6日後(3日後まで室温、以降は冷蔵) ※1000ppb(製品68mg/m ³) 収穫10日後(3日後まで室温、以降は冷蔵) ※1000ppb(製品68mg/m ³) 無処理 収穫後は室温保管 無処理 収穫3日後まで室温、以降は冷蔵保管 対) AF-1 密閉容器内くん蒸処理 収穫3日後(室温)※1000ppb(製品68mg/m ³)	※収穫3日後まで室温保管し、その後は室温または冷蔵保管した果実を供試する。 ・収穫用コンテナに入れた果実を所定のネットに入れ、本剤を処理し、その後室温で保管する。 ・収穫直後、各々の処理時、最終処理2,4,6,8週間後に果実硬度、酸度、糖度、果実腐敗等を測定する。参考としてエチレン生成量を測定する。		
2. AH-01 液 クワネートPナトリウム 塩:11.5% [Meiji Seika ファルマ 北興化学工業]	リンゴ (ふじ)	適用性 継続	宮城園研 秋田果試 長野果試<中間> (3)	ねらい (3) 設計 薬量 <水量> /10a ひこばえの刈り取り代用効果 ひこばえ茎葉散布 ひこばえ発生期、春または夏季1回 1000ml/10a <100L/10a> ひこばえ発生期、春または夏季1回 1000ml/10a <150L/10a> ひこばえ発生期、春季→夏期 1000ml/10a×2回 <100L/10a> ひこばえ発生期、春季→夏期→秋季 1000ml/10a×3回 <100L/10a>	・1区1樹、3反復で行う。 ・ひこばえ茎長30cm以下で散布する。結果枝および樹幹にもできるだけ飛散しないように注意して散布する。前年度と同じ供試樹への連年処理を行う。 ・ひこばえの枯凋効果、樹体への薬害の有無・程度を調査する。 ・処理時のひこばえの平均茎長の記録を行う。	実・継 実)	[リンゴ(ふじ):ひこばえの刈り取り代用] ・ひこばえ発生期(茎長30cm以下) ・1000mL<100~150L>/10a 3回以内 ・ひこばえ茎葉処理 注) 樹幹にかからないように散布する。 継) ・連年処理による樹体への影響の確認
3. AKD-8086 水和 モノチオネート:12.5% フェニトチオン:25% [長野県果樹試験場]	リンゴ (シナピ ツコ)	適用性 自主	長野果試 (2)	ねらい (2) 設計 薬量 <水量> /10a 果そう薬に対する摘葉効果、品種拡大 (自主試験) 立木全面または枝別散布 収穫開始予定日30日前 1000倍 <400~700L/10a> 1500倍 <400~700L/10a>	・果実品質(内外品質)におよぼす影響を確認する。 ・1区あたりに散布した液量を記録する。	実・継 実)	[リンゴ(ふじ):摘葉] ・収穫40~50日前 ・500倍 十分量 (展着剤加用可能) ・立木全面散布 [リンゴ(つがる、早生系ふじ、シナピツコ):摘葉] ・収穫30日前 ・1000~1500倍 十分量 (1500倍は展着剤加用可能) ・立木全面散布 参考) 効果の確認された早生系ふじ; 昂林、やたか、紅將軍 [リンゴ(つごころが):摘葉] ・収穫40~50日前 ・500~1000倍 十分量 ・立木全面散布 継) ・気象条件、樹勢等による効果の確認(ふじ、つがる) ・果実品質への影響について(ふじ、つがる) ・後期落果への影響について(つがる) ・2000倍での効果、薬害の確認(早生系ふじ) ・効果・薬害の確認(シナピツコ)

B. 生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 △は試験中など (数)	ねらい	ねらい・試験設計等	備 考	判定	判定内容
4. AKD-8156 水溶 1-ナフチレン酢酸ナトリウ ム4.4% [アグロオキナウ]	リンゴ (ふじ)	適用性 継続 (自主)	秋田県試	(1)	ねらい つる割れ(裂果)軽減 立木全面散布あるいは枝別散布 満開14日後 3000倍 <300~600L/10a> 満開21日後 3000倍 <300~600L/10a> 満開28日後 3000倍 <300~600L/10a>	・品種「ふじ」で試験 実施する。 ・果実品質の調査及 び連年使用での樹体 への影響の確認をする。	実・継 (従来 どお り)	実) [リンゴ(ふじ、早生系ふじ)]つる 割れ軽減 ・満開20~30日後 ・3000倍希釈(十分量) ・立木全面散布 参考) 効果の確認された早生系ふ じ; 昂林、やたか 注) ・処理により果実肥大が抑制される 場合がある ・処理により葉の黄化や葉のおおれ がみられる場合がある ・樹勢の弱い樹での使用は避ける 継) ・処理時期について ・連年施用による樹体への影響につ いて ・樹勢の違いによる効果・被害の変 動について

C. H23年度 生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 △は試験中など (数)	ねらい	ねらい・試験設計等	備 考	判定	判定内容
1. AF-3 くん蒸成型 1-ナフチレン酢酸ナトリウ ム0.628% [7.85mg a.i./ (1.25g)] [ロム・アント・ハース・シ ヤベン]	リンゴ (シナノ ーレド)	適用性 継続	岩手	(1)	ねらい 収穫後くん蒸処理/貯蔵性向上 密閉容器内くん蒸処理 収穫当日(24時間以内) 1000ppb(1錠/3.5m) /10a	・収穫用コフまたは出 荷用箱に入れた果実 をハットレット(容積 3.5m)に入れ、スマート アブを1個入れる。 ・直ちに容器を密閉し 24時間以上密閉状態 を保持する。 ・処理終了後に開封し、 果実を箱またはコフ に入れたまま室温に 保存する。 ・処理2,3,4,8週間後に 果実硬度、油上がり等 を測定する。収穫後24 時間以内の果実を試 験に用いる。	-	H23年度分参照
2. AH-01 液 クネシトPナトリウム塩 11.5% [Meiji Seikaファ ルマ北興化学工業]	リンゴ (ふじ)	適用性 継続	長野県試	(1)	ねらい ひこばえ刈り取り代用 ひこばえ茎葉散布 ひこばえ発生期、 ・春夏季1回 1000mL/10a <100L/10a> 1000mL/10a <150L/10a> ・春季→夏期(2回) 1000mL/10a×2回 <100L/10a> 春季→夏期→秋季 1000mL/10a×3回 <100L/10a>	・ひこばえ茎長30cm 以下で散布する。 ・結果枝には飛散しな いように、樹幹にもで きるだけ飛散しない ように注意して散布 する。 ・連年処理を実施。 ・ひこばえの枯調効果、 樹体への葉書の有無、 程度を調査する。 ・処理時のひこばえの 茎長を記録する	-	H24年度分参照
3. AKD-8152 水溶 1-ナフチレン酢酸ナトリウ ム4.4% [アグロオキナウ]	リンゴ	適用性 継続	岩手(ふじ)	(1)	ねらい 花芽形成促進 設計 立木全面散布 満開6, 8, 10週間後/3回 4000倍 <300~600L/10a> 8000倍 <300~600L/10a>	・果実品質の調査を 行う ・翌年の花の形態、花 蕾数の調査を行う	継 (継)	・効果、被害の確認

D. 展着剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 △は試験中など (数)	ねらい	ねらい・試験設計等	備 考	判定	判定内容
1. AKD-9043 展着剤 オキシエチレンポリオキシエー テ55% [アグロオキナウ]	リンゴ	適用性 新規	岩手 山形県試	(2)	ねらい 摘葉剤に加入 設計 立木全面散布あるいは枝別散布 収穫40~50日前 本剤5mL/散布液10L+ジオンカーブ [®] 500倍 <200~700L/10a> 収穫40~50日前(倍量区) 本剤10mL/散布液10L+ジオンカーブ [®] 500倍 <200~700L/10a> 比) ジオンカーブ [®] 収穫40~50日前 500倍(展着剤無加入) <200~700L/10a>	・品種は「ふじ」で 試験実施する。 ・薬効及び果実への 被害の確認を行う。 ・果実への薬液の付 着程度の確認を行 う。 ・できるだけ晴天で 温暖な日に処理を する。	-	